

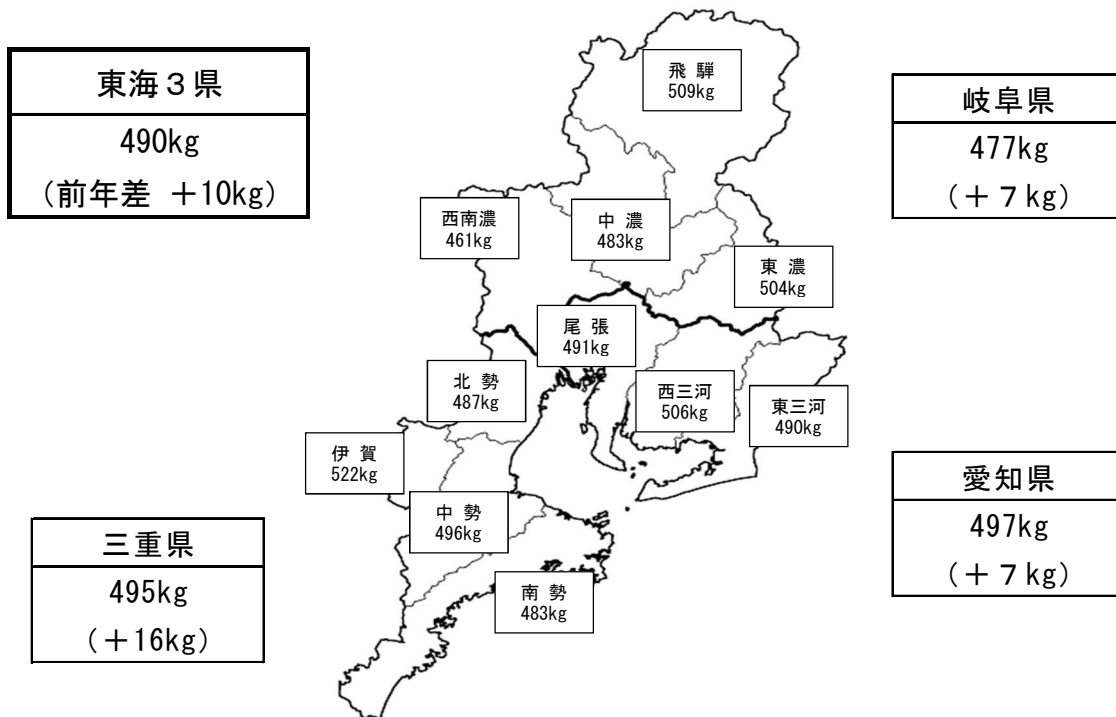
令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量（9月25日現在）

— 東海3県の主食用作付見込面積は7万2,400ha、10a当たり予想収量は490kgの見込み —

【調査結果の概要】

- 1 東海3県（岐阜、愛知及び三重）における令和3年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は8万2,100haで、前年産に比べ700haの減少が見込まれる。うち主食用作付見込面積は7万2,400haで、前年産に比べ2,100haの減少が見込まれる。
- 2 9月25日現在における水稻の10a当たり予想収量は490kgとなった。
また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの東海3県の作況指数は98が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は35万5,100tで、前年産に比べ2,800tの減少が見込まれる。

図1 県・作柄表示地帯別10a当たり予想収量（9月25日現在）

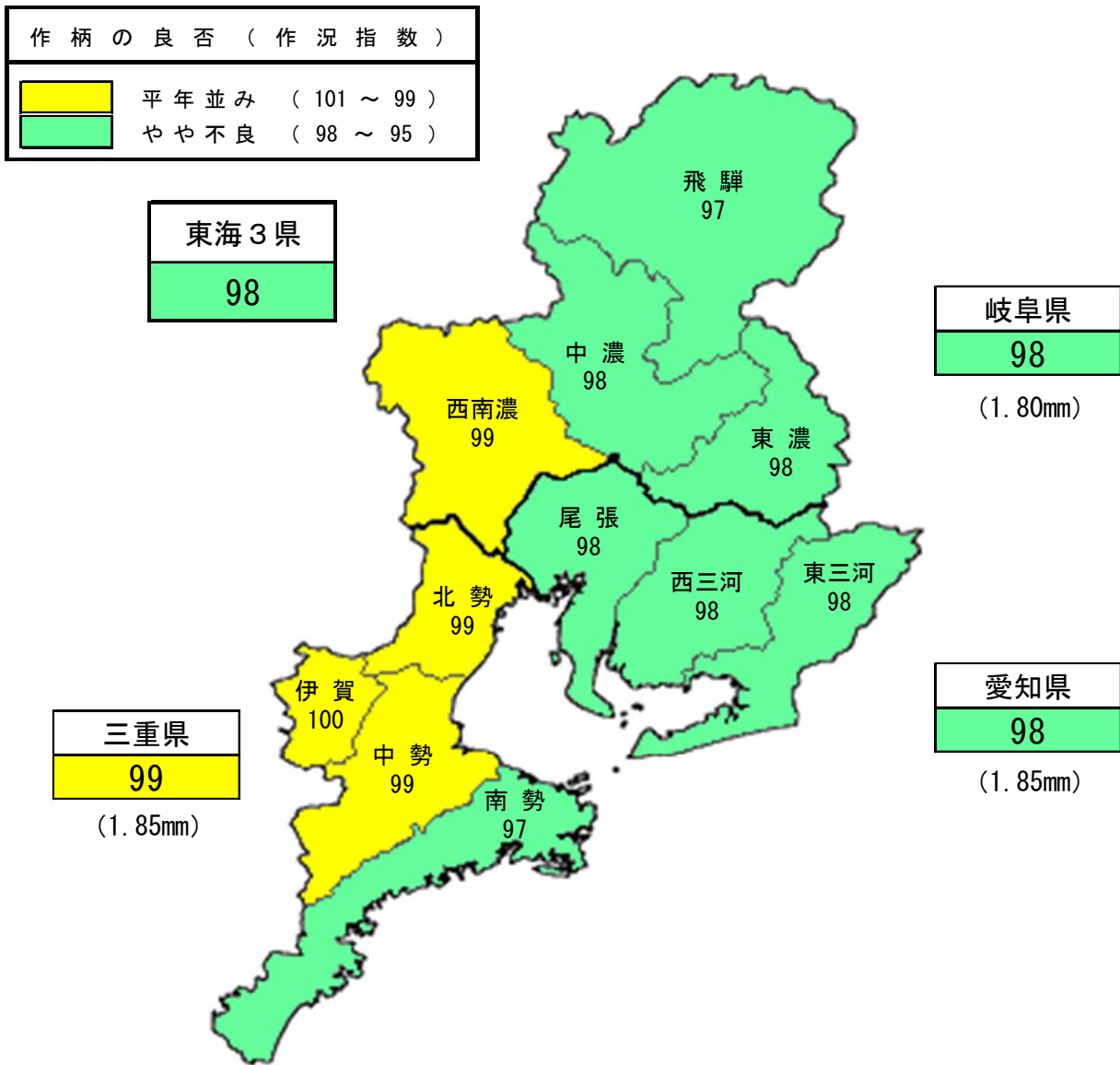


- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日現在）を除いた面積（見込み）である。
- 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。なお、農家等が使用しているふるい目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）ベースの作況指数は2ページを参照。
- 本調査（9月25日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。
- 東海3県は東海農政局が管轄する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。

本資料は、東海農政局Webサイトの「農林水産統計」から御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/kohyo/schedule/index.html#a05> 】

図2 県・作柄表示地帯別作況指数（9月25日現在）
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



- 注：1 作況指数は、県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（岐阜県は1.80mm、愛知県及び三重県は1.85mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 2 東海3県は東海農政局が所管する地域（静岡県を含まない。）であり、全国農業地域における東海（静岡県を含む。）とは一致しない。